

感染症発生状況

令和6年6月5日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和6年5月27日（月）～5月31日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 385名 【職員】 11名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 77名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状別：熱（194名）、咳・鼻水（72名）、下痢・腹痛（38名）、嘔気・嘔吐（11名）

疾病別：新型コロナウイルス感染症（11名）、気管支炎・肺炎（7名）、

突発性発疹症（7名）、胃腸炎（6名）

【職員】症状別：嘔気・嘔吐（2名）、充血（目やに）（2名）、熱（1名）、下痢・腹痛（1名）

疾患別：胃腸炎（4名）

不順な天候が続いています。

子どもの方でも夏風邪（非特異的）が流行しています。

暑さと寒さに対しての服装を心がけてください。

【症状別の発生状況】

新型コロナウイルス感染症 厨川地区、河北地区で増加しました。都南地区で減少しました。

気管支炎・肺炎 河北地区、河南地区、都南地区で増加しました。

盛南地区で減少しました。

突発性発疹症 河北地区、河南地区、都南地区で増加しました。

胃腸炎 都南地区で増加しました。

河北地区、盛南地区、河南地区で減少しました。

【県の状況（5/20～5/26）】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加し、定点あたり患者数は5.25人となりました。県央及び奥州地区で警報値である8人を超えています。全国的に増加の傾向にあります。発熱や全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症です。本菌の感染により稀に引き起こされる劇症型溶血性レンサ球菌感染症では、急性腎不全や多臓器不全等により死亡することもあるので注意が必要です。予防には手洗いやうがいの励行のほか、傷口の清潔保持が重要です。深い傷や発赤炎症のある傷の時は、早めの医療機関での受診をお勧めします。

今年3例目のつつが虫病の報告が一関地区からありました。野外で活動する際は、肌の露出を少なくし、ディートやイカリジンといった有効成分を含む虫よけ剤を使用する、帰宅後はすぐに入浴する等、ツツガムシの幼虫に吸着されない対策が必要です。発熱、発疹、頭痛等のほか皮膚に特徴的な刺し口が見られた場合は、早期に受診しましょう。

咽頭結膜熱は減少し、定点あたり患者数は1.80人となりましたが、中部、一関及び宮古地区で警報値である3人を超えています。本症は発熱、咽頭炎、眼症状を主訴とする小児の急性ウイルス性感染症です。予防には患者との密接な接触を避け、タオルは共用せず、流水と石けんによる手洗いを励行することが重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】